

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	安全	責任者	建設部担当課長(運河河川管理担当)
施策名	港の安全性・信頼性の向上	連絡先	052-698-3680
事務事業名	堀川口のポンプ施設・防潮水門及び港内の防潮扉等の管理・運用	連携課	事業推進課、管財課、施設工事担当
目的	対象(誰・何を)	事業期間	昭和26年度～継続
	意図(どういう状態にしたいか)		
概要	堀川口の防潮水門・ポンプ施設および港内の防潮扉等について保守点検を行い、不良箇所を発見した場合は緊急度に応じた補修を実施します。	根拠法令等	海岸法第14条の5 堀川口防潮水門操作要綱第15条
活動内容	異常が確認された、または老朽化した設備については、自らまたは外部委託にて補修を行い、災害時に異常なく稼働するようにします。	実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		関連シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	26年度	27年度	28年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	334,085	307,490	400,438	347,338	防潮水門の耐震補強工事の実施による増額
人件費	千円	79,687	77,343	78,660	78,563	
合計	千円	413,772	384,833	479,098	425,901	

3 CHECK(検証)

指標名	26年度	27年度	28年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
災害時の施設の故障発生件数(件) (単年度管理型)	目標	0	0	0	0	稼働施設の災害時の故障発生件数(年間)を指標とします。	
	実績	0	0	0	0		
事業進捗状況(28年度)							
施設の年間試運転回数(回) (単年度管理型)	目標	221	228	222	-	稼働施設(ポンプ、水門、防潮扉(締切状態の扉を除く))の年間総試運転回数を指標とします。 稼働施設数H26:42、H27:42、H28:42 水門耐震補強工事に伴い、年間試運転回数が昨年度より減少しています。	
	実績	221	228	222			
事業進捗状況(28年度)							
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	堀川口防潮水門・ポンプ施設・防潮扉について直営及び委託による試運転、点検修理及び委託による定期点検、計画的な維持修繕を実施し、災害時に異常なく稼働しました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	本組が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○	海岸管理者として、災害発生時に被害が生じることを防ぐため、必要な事業です。				
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○					
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○	災害に備え、海岸保全施設としての機能維持ができ、災害時に異常なく稼働しております。				
	期待どおりの成果が得られているか?	○					
効率性	最小のコストとなっているか?	○	計画的な維持修繕を実施する事で効率的な事業を実施しております。				

4 ACTION(取組)

課題	29年度以降の取組
施設の経年劣化に対応した適正な維持管理の必要があります。	災害発生を防止するため、効率的かつ適正な維持管理を図っていきます。